

## 梅雨（五月雨）を晴れやかに！



「五月雨」（さみだれ）という言葉を知っていますか。一般的な辞書によると、概ね「旧暦の5月に降る長雨」を五月雨と称しています。今の5月ではなく、旧暦の5月のことですから、実は「梅雨」と同義です。

今も昔も、長雨の時季はうっとうしさを感じるものです。しかし、先人は長雨を「さみだれ」という美しい響きで表現することで、少しでも心が曇らないようにしていたのではないのでしょうか。現代に生きる私たちも、「雨の日もいい」と声を出して、自分に言い聞かせることで、晴れやかな気持ちに転じられるかもしれません。実際に、梅雨にまとまった雨が降らなければ、ダムは渇水状態になってしまいます。農作物の育ちも悪くなります。心を曇らせてしまうと、行動も鈍ってしまいます。一日を、マイナスな感情で過ごすか、プラスの感情で過ごすかで、物事の成否に大きな差異を生じてきます。心を晴れやかに保ちながら、梅雨（五月雨）の季節を受け入れたいものですね。

## もうすぐ「梅雨入り」!?

5月14日(火)に奄美地方、そして、16日(木)には沖縄地方に梅雨入りが発表され、今年も雨の季節に突入しました。雨の季節に突入しました。この「梅雨入り」や「梅雨明け」の判断は難しく、気象庁は一時期、発表を行わなかったことがあります。しかし、梅雨入りの情報は、次のような理由で社会的関心が高く、今も各地の气象台が「梅雨入りしたとみられます」と発表しています。

- ・梅雨期は大雨による災害が発生しやすい
- ・梅雨期は曇りや雨の日が多くなるため、日々の生活等に様々な影響を与える
- ・梅雨明け後に必要な農業用の水等を蓄える重要な時期である
- ・海の家や家電、ビアガーデンなど夏の業界の仕入れの目安となる



気象庁が暫定的に定めている梅雨入りの基準は次の3つです。

- ① 晴天が2日以上続いた後
- ② 梅雨前線の影響で前日と本日が雨
- ③ その後1週間の天気予報が雨または曇り



ちなみに、气象台が「梅雨入りしたとみられます」と発表するのは速報値だからです。そして9月に入って改めて検証して、日付を修正することがあります。